



北アフリカ地域ニュース

エジプト：ペレス・イスラエル大統領との会談

(10月24日付現地各紙)

23日にシャルム・エル・シェイクで行われたムバラク大統領とシモン・ペレス・イスラエル大統領の会談後の記者会見について報じている。

1. ペレス大統領発言

(1)イスラエルは包括的和平に至るためアラブ・イニシアティブに基づいて交渉する準備がある。

(2)自分は、イスラエル新政権が二国間樹立に向けた和平交渉を継続することを求める。シリア及びパレスチナと個別に交渉することは誤りであり、イスラエルは多くを支払い少なくしか得られない。イスラエルは個別交渉を停止し、アラブ諸国及びアラブ連盟との包括的な地域和平合意に向かう必要がある。

(3)和平交渉におけるエジプトの役割は、現在の国際及び地域情勢において非常に重要である。ハマスとの沈静化実現に関するエジプトの努力に感謝する。

2. ムバラク大統領発言

(1)アラブ・イニシアティブは、パレスチナとの最終的な和平合意が達成されれば、アラブ諸国イスラエルと正常な関係を樹立することを定めており、同イニシアティブは、交渉のテーマではない。包括交渉であれ、バイの交渉であれ、同イニシアティブの主要な目的は、全アラブ人の希望として、中東紛争に終止符を打つことである。

(2)イスラエル新政権があらゆる問題を最終的に解決し、イスラエルと隣り合って共存するパレスチナ国家樹立のための合意にむけPAと遅滞なく交渉することを希望する。

(3)エジプトは、シャリート伍長の解放に向けた努力に失敗していない。捕虜交換が実行されるべく最大限努力することを確認する。